

関係部局と緊密に連携し、国内外から専門家を招き、研究情報の国際的発信をテーマとしたセミナーやワークショップを企画、実施する。

## 本事業のポイント

英語論文の投稿支援事業の取組実績(個別支援)を踏まえ、より幅広い研究者、学生や関係者に、英語論文の書き方、海外ジャーナルへの論文投稿における対策等について知見を深めてもらうため、セミナー等を企画・実施しています。

## 取り組み実績と得られた成果

平成27年度より、附属図書館、全学教育推進機構等の部局と連携し、平成30年度までに合計16回のセミナー等を企画・実施した(本学の教員、大学院生等のべ1750名以上が参加)。

下記のように研究情報発信に関する様々なテーマを取り上げ幅広くカバーし、また外国人研究者や人文社会系研究者の積極的参加を意識した企画も行っている。

### 英語論文の書き方

- Natureや一流ジャーナルへ挑もうワークショップ(H28、29年)

### 投稿知識

- 受理されやすい科学論文の書き方セミナー(H28年)

### リソースの利活用

- ホームページを使った研究成果の発信ワークショップ(H28年)

### プレゼンテーション等のスキルアップ

- プレゼンテーションのスキルアップセミナー(H28年)

### 人社系の情報発信

- ケンブリッジ大学出版社によるセミナー:論文や本を出版する方法(H29年)

など

## セミナー・ワークショップの様子



科学論文の書き方セミナー



How to Publish Your Articles/ Books?  
Advice from Cambridge University Press

## 新しい取り組み

- サイエンス誌のシニア・エディターを招へいし、ラボ訪問を開催(平成30年度)
- 微生物病研究所、医学系研究科、生命機能研究科(IFReC兼任教員も含む)と連携。
- PILレベルの研究者(准教授以上)10名を対象に、国際著名誌エディターとの対談を実現。
- 参加者により、大阪大学についてエディターに知ってもらうことに意義がある、エディターからの示唆を研究に反映させることによって、論文が採択されやすくなる面がある等のフィードバックがあった。

令和元年度以降も、部局間の連携を引き続き強化しながら、新しいテーマを取り入れ、セミナー等を企画する予定である。